



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. **2**

2011年8月号

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

月信に掲載しなかった補足情報をホームページに掲載しております。 <http://ri2710.com/> をご覧下さい。

ガバナーメッセージ GOVERNOR'S MESSAGE

RI テーマの解釈



国際ロータリー 第2710地区
2011～2012年度ガバナー

田村 泰三

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」。2011-12年度、カルヤン・バネルジーRI会長が掲げたRIテーマです。“Reach within to Embrace Humanity”これを日本語に翻訳したものです。英語の原文には“こころ”と“見つめよう”という単語は使われていません。Reach within 直訳すれば“内部に到着する”となるでしょう。人の内部は心だということから、“こころの中を見つめよう”と意訳されています。

“こころ”とは“考え”あるいは“観念”ともいえるでしょう。固定観念を持ち続けるのではなく、新しい考え方ができるように自分から努力することが必要です。人は感動を受けると人生観が変わると言われます。誰もがそのような経験を持っています。他の人の意見を聞き、違う意見を理解したり、異文化に接すると“考え方”が変わってきます。こころの中を見つめようというのはこのようなことを意味していると思います。

ロータリーの中核となる価値観は、親睦・奉仕・多様性・高潔性・リーダーシップであり、多様性は他の人の意見や考えを理解し認めることです。また、ロータリーには職業分類があり、異なる職業人の集まりです。これも多様性であり、多様性という価値観を身につけるために欠くことのできない条件と言えます。

このように考えてみると“こころの中を見つめる”ことは決して容易なことではなさそうです。しかし、いったんこの手法を身につけると、こころの棚卸しは毎月商品の棚卸しをするように比較的容易にできるようになるかもしれません。こころの棚卸しができれば人は精神的に常に進歩し続けることになるでしょう。これは人を必ず幸せにする根源であり、自分だけでなく他の人にも博愛を広げることになります。そして、このようなことが広がっていけば世界の平和も夢ではないのです。

バネルジー会長は自分自身を見つめなおすこと、深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望を持っていることを理解してほしいと訴えています。そして、さらに3つの強調事項を掲げています。第1は強い家族を築くこと、第2は私たちが一番得意とすることを持続すること、第3は変える必要があることは変えるということです。

このように2011-12年度のRIテーマは難解に思えますがロータリーの核心を表現した意味の深い文章であると思います。

会員増強について

地区会員組織委員会 松本茂太郎
カウンセラー



RIの長期計画において、会員増強の重点目標として掲げている事は、1つ目に、新入会員の増加を図る・若い年齢層の加入を勧める・女性会員の増加を図る・地域社会との連携、ネットワークを推進・職業分類の再検討・退会者の再入会勧誘。2つ目に、クラブ活動の充実及び活性化・CLPを中心としたクラブの活性化・クラブ委員会の活動を活発に・3年未満の会員のケア・クラブ研修、教育システムの充実・クラブ活動を楽しく、魅力あるものにする。3つ目に、新クラブの創設となっています。

これをもとに、皆様方のご存じだと思いますが、当地区には長期計画委員会という委員会があります。その委員会において、重要課題として「会員維持・増強」に重点を置き、主要目標を、会員減少に歯止めし、3500名をめざすという項目があります。この会員数を地区の会員増加の目標にし、各クラブは会員増加の目標を立てて頂きたいと思います。

田村ガバナーは地区の会員増強の目標として、3年計画で純増3%（女性会員、45歳未満の若い会員の確保）、各クラブ1名以上の純増と目標を立てておられます。ビジネスのリーダー的役職についておられる女性や社会奉仕で活躍されている若年層がおられます。そして、会員増強委員会では、ロータリー情報の強化（新会員・在籍会員継続研修）を掲げられておられます。

カルヤン・バネルジーRI会長は、RI会長賞のクラブ奉仕部門の会員増強で、クラブの表彰として、少なくとも会員を1名純増させる、そして、少なくとも85%の会員維持率を保つと言われています。

ロータリークラブが成果を上げ、活力を保ち続けるには、綿密な会員増強の行動計画が必要とされます。クラブが新会員を見つけ、現会員の積極的な参加を促し、クラブ増強委員会は、言行の活動を見直し、会員増強の実行計画を立てなければいけません。会員の維持と勧誘の方法は地域によって異なる為、地域別の会員傾向の分析が重要です。委員会は例会等で、成果を会員に報告し、又、退会防止と言う事も考えて頂きたいと思います。次に会員増強のための行動計画を立案すると言う事です。会員増強の行動計画において欠かせない3つの要因は、勧誘、会員維持、新クラブ結成です。

2007年の規定審議会では、ロータリー財団学友と、地域社会の奉仕のリーダーという2つの追加の職業分類に入会の門戸を開きました。

職業分類システムを最大限に活用するために、職業分類調査を毎年行い、クラブで未充填の職業分類を調べてみてください。専門職業につく女性や若年層の会員を増やし、また、若年層の会員は、例会や親睦行事に斬新なアイデアを出してくれるだけでなく、クラブの存続と、時代に即した意義を保つ担い手となって行くと思います。そして、会員候補者にロータリーを紹介する事です。

職業分類の原則では、クラブ会員は1つの職業分類につき5名まで、またはクラブに50名以上の会員がいる場合は全体の10%までと制限しています。

職種は、絶え間なく進化し続ける労働環境において、クラブが行う職業分類調査をする事も大切な事だと思います。

それぞれのクラブの事情等考えて会員増強をよろしくお願い致します。

地区ホームページ8月度更新、掲載予定記事

- ①ガバナー補佐による、グループ紹介
- ②2011年国際ロータリー年次大会に参加して 田村ガバナー
- ③74RC会員増減・出席率（従来形式）
- ④地区協議会スナップ写真集
- ⑤ガバナーメッセージ（ビデオ版）

以上を、地区ホームページならびに、地区facebookページの「地区だより」よりご覧になることができます。

地区協議会を終えて

ガバナー 田村 泰三



ガバナー年度の開始までに行われる最後の研修が地区協議会です。十分な準備をするつもりでしたが、研修の規模も最大であり、多くの反省点を残しました。

分科会において最も多くの方を対象とした「奉仕プロジェクト部門」は、ロータリーの5大奉仕をそれぞれ取り上げた研修を行うことができませんでした。これは、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の各部門に分けて分科会を行う必要があると思いました。クラブ奉仕は、クラブ管理運営部門、広報部門、会員組織部門と分けることができました。

しかし、奉仕プロジェクトをこのように分けるために

は、地区協議会の会場を予約する時点で必要な部屋を確保しておく必要があります。今年度は予約した部屋の数不足し、分科会を増やすことができませんでした。早期からの周到な準備が必要であることを痛感しました。特に最終の研修である地区協議会に照準を合わせた地区の委員会編成が望ましいと感じました。

地区活動方針の重点事項にサブ・テーマとして「日本復活に向けて、私たちに何ができるか?」を追加しました。被災されたロータリー・クラブ、ロータリアンを支援するためお互いをつなぐきめ細かい絆を構築し、多面的な方策を考えてゆきたいと思います。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

地区協議会 会長・幹事部門 報告

代表幹事 田村 邦夫



東日本大震災発生の2日後、3月13日「会長エレクト研修セミナー」を行い、災害の状況がしだいに明らかになっていく中で、5月15日「地区協議会」を開催しました。

RIテーマ、RI強調事項、地区運営方針、ガバナーの信条が表明される中、戦後最大の国難といわれる今回の大震災をうけて、2011-12年度の地区運営は、「東日本大震災復興支援」をサブテーマとして、奉仕活動を進めることを発表しました。

早速、海外からも多くの支援が寄せられておりますが、私たちは、広く世界に目を開き、今まで以上に国際奉仕に関心を向けることが必要であると考えられます。

そこで、この度の会長幹事部門分科会は、「Glocal Community Serviceの勧め」(国際奉仕に関する提言)を演題として、ロータリー活動における国際奉仕について、天野肇パストガバナーにご講演いただきました。

会長・幹事の皆様は、天野パストガバナーのご講演を熱心に聴いていただきましたので、ここでは、パワーポイントで講演いただいた主なポイントを挙げさせていただきます。

■まえがき

○地球は縮まる?

○無限に広がる奉仕(サービス)

International からGlobalへ、そしてGlocalへ

※Glocal(グローカル)は、GlobalとLocalの造語

○希薄な人間関係を濃密な人間関係へ

■コンテンツ

1. ロータリー奉仕活動の変遷と変革への兆し

2. ロータリー国際奉仕の将来と

Glocal Community Serviceの勧め

■終わりに

○21世紀は、社会貢献の時代

①CSR (Corporate Social Responsibility)

②バンガード・カンパニー(先駆的企業)

③ソーシャル・ビジネス革命

以上の内容でのご講演でしたが、ロータリアンとしての「奉仕」に対する心構え、「理念」を理解することと、将来に向けて地球規模での社会環境の大きな変遷を、Globalな視点で捉え、高いモチベーションをもち、「奉仕の理想」を実践していく上での格調高い講演内容でした。会長・幹事の皆様は来る年度にむけて、熱い胸の高鳴りを感じられたのではないのでしょうか。

その後、宇江邦雄(福山東RC)、鎌田俊樹(岩国西RC)両氏による国際奉仕の事例発表があり、活動に対する充実感、達成感、また留意点、問題点を興味深くお聴きし、最後に田村ガバナーエレクトの司会で会場との意見交換があり、有意義な分科会でした。

地区協議会 クラブ管理運営部門 報告 クラブ管理運営部門委員会 委員長 **村岡 恭行**



田村泰三G・エレクトは、「ロータリーの最終的な目標は、ロータリアンとしてこの成長を進め、各自の自主性を高めることである」を信念のもと、地区信条として「ロータリーで楽しむところを学ぶ」を目標とされました。

ロータリーを楽しむことによってこのころはリラックスし、潜在能力を引き出して成長します。そこで重点事項の一つに、“CLPを推進して、クラブの潜在能力を引き出す”を挙げられました。クラブ管理運営委員会へは、効果的なクラブ運営のための「CLP」をテーマとして、意見交換とその導入・研究を推進するよう要請されました。

CLPの目的は効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることです。効果的なクラブの要素は、正にクラブ管理委員会の要素でもあります。それは即ち、○会員増強、○地域社会のニーズを含んだ奉仕プロジェクトの実施、○ロータリー財団への支援、○クラブの指導者を育成すること、であります。

分科会の目的は、CLPの導入・研究・理解を通して、ロータリー活動を推進していく上でクラブの効果的な管理運営が出来るよう、その知恵を吸収して頂く

ことです。カウンセラーに前田茂ガバナー、副リーダーに志々田幸治会員(呉)、佐藤匡司会員(三次)を仰ぎ、①田村次年度ガバナーの要請事項の説明、②CLPについての説明、③前田茂カウンセラーからの研修指導、④アンケートの内容を基に意見交換を図る、の順で研修しました。

主な意見を纏めると、①《会員増強》概して“会員増に結果が現れた”、②《地域社会のニーズを含んだ奉仕プロジェクトの実施》“効果的に取組み易くなり実施できた”、③《ロータリー財団への支援》“財団を理解し、効果が発揮できた”、④《クラブの指導者を育成すること》“意識の向上と指導者育成に効果が現れた”、⑤《CLP導入がロータリークラブの強化・活性化に繋がった》“クラブ員同士の相互理解や委員会の連携がスムーズになり、事業内容が充実し、CLPの効果があつた”、⑥《CLPを導入して良かった》“組織が明確になって少人数でも活動し易くなり、クラブの独自性・特色など維持し易くなった”、⑦《CLP導入についての問題点》“意識の問題であり、方向性が見出せない”“制度導入は各クラブの自主性に任せるべきで、各クラブに選択肢を持たせ、特色あるクラブ運営が望まれる”“クラブ内コンセンサスが不十分”等々…でした。

地区協議会 広報部門 報告広報委員会 委員長 **廣 實 厚 夫**



田村ガバナーは国際ロータリー長期計画で掲げられた、「公共イメージの認知度の向上」を受ける形で、ロータリー内外への積極的な情報の発信を考えられています。広報部門においてもこの意向を反映した形で、主に広報の基本的な考えを学ぶとともに、

昨今のメディアの変革にともなう新しい可能性を模索、また、月信に関しても新たな形を提示することとしました。まず、最初にカウンセラーの岡田幹矢パストガバナーより、「ロータリーにおける広報の基本的な考え方」というテーマで、広報(パブリックリレーション)という概念そのものが、アメリカで生まれ、大統領選挙という契機で成長したことや、パブリシティとパブリックリレーションの違いを説明されました。また、身近な選挙を例に出して、

最終的には信頼できる個人の情報発信がもっとも重要であることを力説されました。

次に、西海月信編集長より、次年度発行の月信が、一部の記事がHPに移行し、結果ページ数を減じ簡略化することが報告されました。また、質問に答える形ではありますが、費用の面でも経済的であることが示されました。続いて廣實からSNS特にfacebookの紹介をさせていただきました。facebookは最近、日本に登場したSNSで、その概要をつたえらるとともに、RIが大変重要視していること、2700地区ですでに非常に有効に活用されていること、その情報の伝播力からこれから、さらに躍進がみこまれることから、各クラブ、各ロータリアンに使用を推薦させていただきました。最後に、質疑応答の後、岡田幹矢パストガバナーより、講評をいただき、会を終わらせていただきました。

地区協議会 会員組織部門 報告

会員組織委員会 委員長 市川 英 助



(すべての出会いはロータリークラブに繋がる)

会員組織部門は、アドバイザー永富稔P・Gより講和「会員増強について」を頂きました。若い時は例会出席自体が大変であるが、年を重ねるにつれてロータリークラブに

対する考え方が変わるので、勉強会等を通してロータリーを理解しロータリーにはまることが大切である。併しながら、今日勉強会そのものが少なくなっている傾向にあるのが残念である。13万を超えていた日本の会員数は9万人を切り、今や8万人台となっており、増強は自分の為、社会の為であり会員増強も奉仕活動として取り組む重要性を説いて頂きました。

次に、平田克明今年度会員組織委員長より「委員長としてのこの1年」をお話いただき、4月末現在スタート時より55名のプラス(内訳は35クラブがプラス、15クラブが同数、24クラブがマイナス)であるが、例年年度替わりに退会者が増えるため、退会防止に努めプラスで次年度を迎えられるよう、尚一層の協力依頼があり

ました。[時代の変化、変革についていけないと衰退する]と言うダーウインの説を上げられ、例会運営のあり方等について変わることの大切さを強調されました。

会員増強活動事例として、神田敏治氏(広島東南)、高橋裕延氏(防府北)両氏よりその取り組み状況をお話頂きました。誰かがやるだろうと言う意識から、会員各自が増強する意識を持つべきであり、全員参加型としてグループに分け増強に取り組む。又、新会員の皆さんに増強委員会に所属して頂き、知人・友人の入会をお願いする。特に若い会員と女性会員皆さんの協力が大きな力となる点を強調されました。

松田昭正ロータリー情報委員長から「ロータリー情報の強化と研修リーダーの役割」についてお話頂く予定が、体調不良の為難しくなり、別の機会があればお願いしたいと思います。

最後に、先に協力頂いたアンケートの集計結果を報告しました。強調事項として:1)ロータリーバッジは例会だけでなく、常に身につけるよう努めること。2)名刺作成は会長、幹事のみならず、各委員長、委員にもすすめる。

以上2点をお願いし分科会を閉会いたしました。

地区協議会 奉仕プロジェクト部門

報告 奉仕プロジェクト委員会 委員長 小 野 悟



地区奉仕プロジェクト委員会は、ガバナーの地区運営方針として「社会奉仕を重点として奉仕全般を実施」を掲げられていることについて、より強くCLPを推進して各クラブの潜在能力を引き出していき、人が人に接することで心通わすプログラム

を基本方針として、この分科会に次の3つのテーマを頂きました。

- 1.認知症の人と家族を支援するために
- 2.新世代奉仕の展開-RYLA開催について
- 3.国際奉仕における人道支援について

限られた時間での3つのテーマでの運営に関して、パネルディスカッション方式を採用いたしました。カウンセラーとして南園義一パストガバナー、西村栄治パストガバナー新田薫パストガバナーの参加を頂きました。

最初に南園パストガバナーに3つのテーマ全般に関わる社会奉仕の考え方についての講話を頂き、パネルディスカッションに入りました。

1番目のテーマ「認知症の人と家族を支援するために」では安田年光社会奉仕委員長に認知症の現状報告と対応を話していただきました。会場から今後体験談を取り入れたらどうかとしながらも、我々がどこまで関

わるのかとの意見もありました。

次に2番目のテーマ「新世代奉仕の展開」について山本茂男新世代奉仕委員長に青少年への取り組みへの思いを話して頂き、その後、重村正明RYLA担当委員長より11月に開催されるRYLAの企画が発表されました。「日本を経営する」壮大なテーマで仮想内閣を作り未来の日本を考える素晴らしい企画に感動しました。

最後に3番目の「国際奉仕における人道支援について」というテーマで八百谷俊昭国際奉仕委員長が2710地区と海外の姉妹提携先との交流についての現状を話されました。山口より広島の方が沢山交流している実態がありました。又会場の職業奉仕委員会の方よりこの度の震災の事をもう少し取り上げたらどうかとの意見もありました。カウンセラー、パネラーの皆様にご協力頂き何とか無事に私にとりましても納得のいくパネルディスカッションになり、有意義な分科会になったと確信しています。

この度の奉仕プロジェクトの委員長としての分科会の運営に当たり感じたことは、80分の時間で180名の運営会議に分科会としての無理があると思いました。職業奉仕は我々ロータリーの根幹を成すものとして、別会場にすべきではないかと思いました。

最後になりましたが、安田さん、山本さん、八百谷さん本当にありがとうございました。

地区協議会 ローターリー財団部門 報告 ローターリー財団委員会 委員長 福田 敏 勝

2011-12年度国際ロータリー第2710地区、地区協議会が5月15日広島国際会議場で開催されました。その財団部門についてご報告を申し上げます。

まず私の挨拶から始まり、今年度の地区方針の中で特に、2億ドルチャレンジが最終年度になるのでご協力の依頼をして、ロータリーカードの加入促進をお願いいたしました。また、ロータリー日本財団が公益法人に承認され、税制上の優遇がされるのでその活用を促しました。次に今年度、人道的補助金担当の益本雄二委員長より今年度の地区補助金申請について説明をいたし、次にGSE担当の河村敬一郎

委員長より、今年度の引き受けについて報告がありました。続いて財団奨学生・学友会担当の中村義行委員長より奨学生の面接を行ったことの報告がありました。

次に2013年度からの夢計画について伊賀訓之担当委員長より今後の進め方について説明がありました。その後、未来の夢クイックガイドを使って、榎賢志委員より補助金の種類について説明がありました。講評として、川妻二郎パストガバナーカウンセラーより今後の各クラブの財団のあり方について、実例をあげて説明していただきました。各クラブの財団担当の方は、単年度ではできないことが理解できたと思います。

今回ステップIとして財団に対しての意識を変えることでありました。

地区協議会 米山記念奨学会部門 報告 米山記念奨学会委員長 細田 正 躬

カウンセラー 仁田一也様(広島東南)、前年度米山奨学会委員長 角田守様(庄原)、次年度委員長 稲葉周三様(呉)、米山学友会会長 島崎高志様(東広島)、米山学友会顧問 庄子佳良様(広島北)、米山奨学生 アリエタ・パメラ・アンラカンさん、世話クラブカウンセラー 清家俊一様(広島安佐)、米山奨学生 劉 龍君、世話クラブカウンセラー 原田正剛様(徳山セントラル)、2710地区各クラブ米山委員長67名の出席のもと米山奨学会分科会を開催いたしました。

仁田カウンセラーより米山記念奨学会の現況について「ロータリー米山記念奨学会の財源は、すべてロータリアンの寄付が支えています。事業費は年間14億6000万円(2009年決算)。世界120カ国より累計16,390人。今年度は823名の外国人留学生に奨学金を支援する、日本国内最大の民間支援団体です。厳しい審査によって選ばれた、学業、人物ともに優秀で、将来国際社会で活躍する留学生を支援し、近い将来母国と日本をつなぐ架け橋になり、世界の平和と国際親善、また日本のよき理解者として貢献できる人を支援する奨学団体です。本年度の目標額15,000円／人以上の達成に努力してください」とのこと。続いて「心をつないで、世界へ」ロータリー米山記念奨学会の学友たちのDVDを15分上映し、地区委員長の皆様に米山奨学会を理解して

いただきました。

米山奨学生 アリエタ・パメラ・アンラカンさんより、「エリザベト音楽大学に在学中、来日当初は経済的に困窮しましたが、奨学生に選ばれ米山奨学金が受給され、学業に専念する事が出来ました。今年8月には母国に帰り音楽を通じ日本との架け橋になりたいです」との話がありました。

米山奨学生 劉 龍君(徳山大学でビジネス学を勉強中)は、「ロータリーの『四つのテスト』の『みんなのためになるかどうか』に感動し、今迄は自分の事を中心に考える事が多かったが、ロータリアンは常にみんなの事、他の人の事を考え行動しています」と話していました。また、世話クラブカウンセラーの清家俊一様(広島安佐)、原田正剛様(徳山セントラル)お2人とも共通して言える事は「カウンセラーを受ける迄は自分に出来るだろうか大変不安だったが今ではカウンセラーをしてよかった。今では自分の息子、娘のようだ」と2人とも話されたのが印象に残りました。皆様方もぜひカウンセラーを一度引き受けて見たらとのお話でした。

学友会会長 島崎高志様より米山学友会について現況報告があり、学友会顧問 庄子佳良様より学友会に対しご支援ご協力のお願がありました。

その後、地区委員長皆様より約10分間質疑応答があり、最後に仁田カウンセラーより総評をしていただき米山奨学会の分科会を終了しました。

国際ロータリー第2710地区 2011-2012年度／74RCの会員増減・出席率 2011年6月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	83.19	83.98	34	29	4	0	5	-5
	下 関	4	88	88.36	49	48	1	7	8	-1
	下関中央	3	87.09	84.25	30	30	5	2	2	0
	下関東	5	82.79	83.13	52	45	0	8	15	-7
	下関北	4	87.7	83.65	42	43	0	6	5	1
	下関西	5	93.51	93.52	30	37	1	7	0	7
	油谷湾	5	100	99.84	13	14	0	1	0	1
計			88.9	88.1	250	246	11	31	35	-4
グループ2	萩	4	91.34	91.8	57	56	0	2	3	-1
	萩 東	3	98.66	96.84	24	25	0	1	0	1
	美 祿	4	76.79	76.21	27	26	0	2	3	-1
	小野田	5	85.42	84.97	49	47	0	3	5	-2
	宇 部	4	85.15	86.86	52	52	2	3	3	0
	宇部東	5	67.27	69.78	20	22	4	3	1	2
	宇部西	4	89.61	87.9	51	51	1	4	4	0
計			84.89	84.91	280	279	7	18	19	-1
グループ3	防 府	3	100	90.76	61	59	0	6	8	-2
	防府北	4	91.25	92.61	20	20	1	3	3	0
	防府南	4	92.42	86.54	30	29	7	5	6	-1
	山 口	4	97.09	94.91	51	53	3	10	8	2
	山口中央	4	88	86	7	9	2	4	2	2
	山口県央	3	98.15	97.68	35	33	1	4	6	-2
	山口南	3	81.05	80.61	38	35	3	2	5	-3
計			92.57	89.87	242	238	17	34	38	-4
グループ4	光	3	91.84	93.44	50	49	0	3	4	-1
	周南西	4	100	100	40	40	2	3	3	0
	徳 山	5	99.05	97.2	41	41	1	11	11	0
	徳山セントラル	4	89.66	91.23	28	28	1	2	2	0
	徳山東	5	98.36	98.17	50	49	0	3	4	-1
計			95.78	96.01	209	207	4	22	24	-2
グループ5	岩 国	3	85.62	81.08	59	61	0	8	6	2
	岩国中央	4	87.85	88.15	43	41	3	2	4	-2
	岩国西	4	86.67	86.01	63	59	2	3	7	-4
	柳 井	4	100	100	28	28	2	4	4	0
	柳井西	5	97.9	96.86	28	29	2	3	2	1
計			91.61	90.42	221	218	9	20	23	-3
グループ6	広 島	4	98.53	98.05	121	117	1	10	14	-4
	広島安芸	4	99.37	98.83	38	41	2	3	0	3
	広島安佐	4	86.91	89.29	22	20	1	1	3	-2
	広島東	4	96.13	96.38	93	89	4	11	15	-4
	広島北	4	100	100	78	77	0	4	5	-1
	広島陵北	5	96.93	96.81	41	39	0	2	4	-2
	大 竹	4	84.56	82.38	33	31	0	4	6	-2
計			94.63	94.53	426	414	8	35	47	-12

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	100	57	58	4	4	3	1
	広島廿日市	4	88.08	91.17	35	34	1	3	4	-1
	広島城南	4	97.78	96.88	41	44	1	5	2	3
	広島南	4	98.17	97.33	84	86	0	12	10	2
	広島東南	4	100	99.9	85	89	8	9	5	4
	広島西南	3	100	99.76	63	63	3	5	5	0
	広島西	4	98.48	99.65	85	80	0	2	7	-5
計			97.5	97.81	450	454	17	40	36	4
グループ8	江田島	4	95.84	89.44	19	18	0	1	2	-1
	東広島	4	98.8	98.73	31	32	2	2	1	1
	東広島21	4	96.05	93.22	17	19	4	3	1	2
	呉	5	94.05	93.39	69	70	0	5	4	1
	呉 東	5	95.1	91.63	32	32	0	3	3	0
	呉 南	3	94.12	91.02	46	48	3	3	1	2
	西 条	5	98.1	99.06	52	51	3	6	7	-1
計			96.01	93.78	266	270	12	23	19	4
グループ9	広島空港	5	82.5	81.17	26	24	2	1	3	-2
	因 島	5	83.52	87.96	28	26	1	2	4	-2
	三 原	4	89.21	88.99	68	64	2	4	8	-4
	尾 道	4	89.03	87.25	72	70	1	4	6	-2
	尾道東	4	90.74	88.94	55	56	1	2	1	1
	瀬戸田	5	90.9	87.69	15	11	0	0	4	-4
	竹 原	5	91.57	91.72	37	35	4	2	4	-2
計			88.21	87.67	301	286	11	15	30	-15
グループ10	府 中	4	84.56	87.87	37	36	0	2	3	-1
	福 山	4	92.59	94.6	83	78	0	5	10	-5
	福山東	5	90	87.76	52	51	0	4	5	-1
	福山丸之内	4	95.83	95.44	36	36	1	0	0	0
	鞆の浦	4	87.12	86.16	34	32	0	1	3	-2
計			90.02	90.37	242	233	1	12	21	-9
グループ11	福山赤坂	4	84.67	84.19	39	42	2	7	4	3
	福山北	4	98.91	98.84	44	46	0	3	1	2
	福山南	4	88.59	84.16	61	60	1	5	6	-1
	福山西	3	88.89	89.29	42	42	2	1	1	0
	松 永	4	90.48	89.67	43	43	0	2	2	0
計			90.31	89.23	229	233	5	18	14	4
グループ6	吉 舎	4	93.72	96.35	21	19	0	0	2	-2
	三 次	5	84.67	84.01	43	40	0	2	5	-3
	三次中央	4	93.63	95.35	48	49	8	3	2	1
	庄 原	4	85.89	89.64	37	38	4	3	2	1
	東 城	5	77.8	81.48	19	19	1	3	3	0
計			87.14	89.37	168	165	13	11	14	-3
2710地区計			91.36	90.84	3284	3243	115	279	320	-41

文庫通信 (286号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電

話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演から

申込先:ロータリー文庫
(コピー/ PDF)

「日本の歩むべき道」	小泉純一郎	2011 (D.2590)	8p
「日本人のわすれもの」	櫻井よしこ	2011 (D.2690)	2p
「日本経済復活のキーワード“グローバルセンス”」	財部 誠一	2011 (D.2760)	3p
「地域の繁栄は国の繁栄」	金 美齡	2011 (D.2630)	2p

「私とスペシャルオリンピックス活動」	有森 裕子	2011 (D.2750第30回インターアクトクラブ年次大会)	6p
「変わりつつあるロータリー」	江崎 柳節	2011 (D.2760)	3p
「ロータリー財団の方向性」	川尻 政輝	2010 (D.2780)	5P
「CLPとクラブ活動について」	松宮 剛	2010 (D.2780)	9P
「津波が変えた私の人生」	道下 俊一	2008 (D.2780)	10P

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介

(順不同)



新井 裕
下関RC
2011年6月6日
食品工業



河野孝正
下関RC
2011年6月27日
ガス供給



植村茂信
下関東RC
2011年6月27日
私立大学



工藤保人
下関東RC
2011年6月9日
証券業



谷口隆雄
下関東RC
2011年6月19日
団体保険業



小島 顯
下関東RC
2011年6月23日
広告代理業



弘山直滋
下関北RC
2011年6月14日
内科医



眞崎高利
下関北RC
2011年6月28日
第2地方銀行



西村文宏
宇部西RC
2011年6月7日
総合証券



松永充宏
防府RC
2011年6月14日
自動車販売



郷田 宏
山口中央RC
2011年6月21日
I・T



河野暢公
徳山東RC
2011年6月15日
ホテル及び飲食業



結城恵司
広島安芸RC
2011年6月7日
鉄鋼配布



田畑裕生
広島安芸RC
2011年6月14日
衣料リース



羽山信宏
広島安芸RC
2011年7月12日
工作機製造



藤木 寛
広島廿日市RC
2011年6月27日
不動産賃貸業



柴沼隆之
広島南RC
2011年6月10日
総合商社



澤田 清
広島東南RC
2011年6月13日
総合建設



山西裕司
広島南RC
2011年6月13日
内科医



畑谷圭志
広島東南RC
2011年6月27日
電気器具製造



大植 伸
広島西RC
2011年7月7日
民事弁護士



佐伯正夫
広島西RC
2011年7月7日
ガス供給



梶 泰起
広島西RC
2011年7月7日
土木建築工事



大石正信
東広島RC
2011年6月7日
不動産管理



田中誠進
呉東RC
2011年6月15日
水産物加工



阪井善和
呉東RC
2011年6月22日
損害保険



藤原昭典
西条RC
2011年6月2日
清酒醸造



平田 昭
因島RC
2011年7月1日
民営国民宿舎



勝村憲明
三原RC
2011年7月5日
製材業



梅村知史
福山南RC
2011年6月2日
生命保険



井上康一
福山西RC
2011年7月5日
自動車販売



脇谷勝利
松永RC
2011年6月27日
溶材販売

謹んで
哀悼の意を
表します



柳井RC
故 神出博正 殿
2011年6月30日ご逝去(享年80歳)
●ロータリー歴
1991-1992年度 会長
副会長・SAA・会員増強組織委員長他
ベネファクター・マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
米山功労者(マルチプル)・米山功労法人
●職業分類/内科医



呉東RC
故 池田孝温 殿
2011年6月12日ご逝去(享年73歳)
●ロータリー歴
2011-2012年度 会長エレクト
2010-2011年度 米山記念奨学会委員会 委員長
2009-2010年度 奉仕プロジェクト委員会 委員長
2008-2009年度 SAA・2007-2008年度 幹事
各委員長歴任、第11回米山功労者
●職業分類/不動産管理